

教育委員会会議の概要（令和2年5月定例会）

- ◆ 日 時 令和2年5月15日（金）午後2時00分から午後4時12分まで
- ◆ 場 所 教育局第1会議室
- ◆ 出 席 者

教 育 長	佐々木 洋	出席
委員・教育長職務代理者	吉田 利弘	出席
委 員	花輪 公雄	出席
委 員	中村 尚子	出席
委 員	里村 正治	出席
委 員	阿子島 佳美	出席
委 員	梅田 真理	出席

◆ 会議の概要

- 1 開 会
- 2 議事録承認 3月定例会及び臨時会、4月定例会
- 3 議事録署名委員の指名 花輪 委 員
- 4 報 告 事 項

（1）令和元年度健康実態調査結果の概要について

（健康教育課長 説明）

中 村 委 員 まず、資料3ページ目に「在仙プロスポーツ球団との連携による簡単エクササイズ動画の配信」という記載があるが、好きなプロスポーツ選手が出ていたりすると、子どもたちも前向きになると思うので、一部でもいいので、体育の授業に取り入れるなどの検討をしていただくと、子どもたちにとっても楽しみの一つになると思う。

次に、資料4ページ（2）①に「免疫力を高める食生活の情報を仙台市ホームページに掲載する」とあるが、保護者の方も関心の高い内容である。ホームページをあまり見ない人もいるかもしれないので、こういった情報を献立表や給食だよりも載せていただくとともに、ホームページの具体的な掲載箇所まで教えていただくと、大変助かる。

また、生活習慣について、運動や食事、睡眠といったものは一つ一つ切り離すこ

とのできないものだと思う。朝食を食べている子どもの方が多くなってきていることはとてもいいことだが、「ほとんど食べない」、「食べない日のほうが多い」という子どもの理由を見てみると、「朝起きるのが遅いので食べる時間がない」、「食べたいけど時間がない」とあり、睡眠時間や運動量の少なさとの関連もあるかもしれない。例えば食事という切り口から、睡眠や運動量といった他の生活の部分についても見ていくと、内容の濃いデータになるのではないかと思った。

資料4ページ(3)①に「いつでも・誰でも・すぐ使える資料」という記載があるが、市のホームページにこういったカテゴリーが設けられているのか。

健康教育課長 ホームページには、誰でもご覧になれるように掲載している。

教育委員会のページ内の「健やかな体の育成プラン」というページに、パワーアップ仙台っ子の運動の紹介や、キャラクターを使ったチェックシートなどを掲載し、ご覧いただけるようにしている。

中村委員 少し見つけにくいように思うので、広く告知できるような形をとっていただけたらありがたい。加えて、資料4ページ(4)の「小学校入学前の幼児及び保護者向けの健康に関する啓発資料を配布」というのは、とてもよい取り組みだと思うが、入学直前ではなく、なるべく幼保と連携を取れるように取り組んでいただきたいと思う。「まもる～るポスター」というのはどのようなものか。

健康教育課長 生活習慣や運動習慣、食習慣に関する標語のようなものを記載したポスターであり、発達段階に応じて作成し、各学校に配布、掲示をしてもらっている。

教育長 先ほどの在仙プロスポーツの動画の配信状況について、説明いただきたい。

健康教育課長 ちょうど昨日、文化観光局と連携して、動画の公開について記者発表を行った。現在は、市のホームページだけではなく、学校ごとに発信しているホームページにも掲載するなど、保護者の方や子どもたちが見やすくなるような対応について考えているところである。なるべく多くの方が検索しやすくなるような周知の在り方について、教育局内で相談しながら対応してまいりたい。

花輪委員 調査報告書の24、25ページに書かれてある歯と口腔のグラフについては、大変いい傾向にあると思うが、アレルギー疾患が右肩上がりが増えてきている。例えば、16ページの中学校男子は、今や10%近くが疾患を抱えている。小学校男子、女子、中学校女子も、同様に増加傾向にあり、非常に心配である。

大気汚染物質や住宅環境といった様々な問題が関連し、アレルギー性疾患を持つ生徒が増えているが、仙台市特有の問題ではないと思うので、全国的な動向も注視しながら、情報収集していただきたい。

次に、体力測定において、過去の最高値を目標値として設定している点が気になっている。必ずしも過去の記録を上回らなくてはならないという考えではなく、例えば、平成18年から平成30年までの13年間の平均値と標準偏差で、今年度はどの位置にいるのかといった見方をしても構わないと思う。

また、生活習慣に関して、2年度分の結果しか記載されていないが、もう少し幅を持たせて記載するのが良いだろう。年々結果は変動するものなので、変動の傾向を見られるようにするためにも、生活習慣や食習慣に関する調査結果が累積されてきたら、最低でも5年度分の結果を記載していただくことをお願いしたい。

健康教育課長 アレルギー疾患を持つ児童生徒の増加に関しては、やはり全国的な傾向であると感じている。本市においては、近年、原因を特定できない化学物質過敏症を持つ子

どもも増えており、保護者からの相談も学校へ多く寄せられるようになってきていると聞いている。

体力測定における目標値については、過去の最高値をすべからく目標にしてしまうと今後達成が難しい部分もあるのかと思うので、動向を見ながら、その設定方法を検討してまいりたい。

生活習慣等に関する調査に関しては、結果の見せ方や検証の仕方等について、工夫に努めたい。

吉 田 委 員

まず、感染症についてである。教育に携わってきた者として、「これからの激しい社会の変化に対応するための力」の必要性を長く主張してきた。今まさに、予測もつかなかった新型コロナウイルス感染症の問題が発生し、子どもたち、大人たちがそれぞれどのように対応していくべきなのか、教育行政がどう在るべきなのかを考えなければならない時である。その中で、資料3ページ4の「児童生徒の健やかな体の育成のために」において、今般の長期化する臨時休業に触れた説明が何度もあったが、具体的な対応の仕方を念頭に入れた対策をしっかりと練っていくという点において、適切な姿勢であると感じた。

例えば、毎年取り上げられてきたメディアへの接触時間の問題について、今年は今までは違った対応が必要である。臨時休業中の約3か月間、ほとんどの子どもたちはメディアに浸かっていたわけである。そこからどのように脱却させるのか、今までの知恵を発揮し、具体の対策の検討をお願いしたい。

併せて、子どもたちの心身の健康状況は今までは確実に違っていると思うので、学校再開後、子どもたちが学校に戻ったときに、どのような心のケアをしていくのか、体だけではなく心の健康とのバランスを考えた対応をお願いしたい。

もう1点、資料2ページ中段に「握力やボール投げが低下傾向にあることから、投能力向上プロジェクトを立ち上げた」との記載があり、調査報告書30、31ページからも、握力やボール投げが低下傾向であることが読み取れる。そこで、プロジェクトでは、その背景をどのように分析し、対応を検討しているのか教えていただきたい。

健康教育課長

握力やボール投げが低下傾向にある背景として、以前に比べ、遊びによる動作が減っていることがあげられると思うが、公園でのボール遊びに対する制限といった社会的な要因も考えられる。背景には複合的な要因があり、十分に捉え切れていないのが現状である。

また、プロジェクトについて、昨年度は、健康推進協力校とともに、例えばボール投げの動作に近いメンコのような遊びについて、教員たちで実践してみるなどの活動を行った。今年度は、健康推進協力校に、さらに幅広く協力してもらいながら、各学校へ紹介し、活用を広めていきたい。

梅 田 委 員

資料4ページ(3)①の「保健指導資料の活用推進」について、新型コロナウイルス感染症の流行に伴って、今後学校再開後の対応にも非常に関連が強いことだと思う。感染症問題とは、長く付き合っていくことが求められると思うので、正しく知って正しく予防するということは非常に重要である。感染症が、差別やいじめにつながることもあると思うので、子どもたちが感染症についての正しい知識を身に付けられるよう、資料の活用を促すとともに、各学校でしっかり取り組んでいただけるよう働きかけていただきたい。

2点目は、生活習慣についてである。メディアと接する時間について、小学校2年生は男子、女子ともに、平成30年度と比べ余り変わっていないようだが、小学校5年生や中学校2年生は増えている。生まれた時からタブレットやスマートフォンが身近にある子どもたちにとって、メディアと切り離す指導というよりは、どのようにメディアを活用していくか、どのように使用時間を設定していくかといった、メディアと上手に付き合っていくための指導を行っていくことも必要である。

阿子島委員 健康実態調査は毎年春に行われているが、今年度はまだ授業が始まっておらず、学校再開後すぐに調査をするのも難しいかと思う。いつ頃に行えるかを伺いたい。

また、体力・運動能力調査について、新型コロナウイルス感染症対策のため、体育の授業も様々な制約があるようなので、今までの実施してきた全ての項目について、調査できるのかもお聞かせいただきたい。

健康教育課長 健康実態調査は、国の悉皆調査の一つであるが、文部科学省より悉皆調査について今年度は中止するとの通知があった。また、体力・運動能力調査の項目については、現時点で国から正式な通知は来ておらず、検討中のようなのである。

食習慣・生活習慣について、今年度は特に把握する必要があると思うので、仙台市独自の調査にはなるが、引き続き実施していきたいと考えている。

里村委員 メディア接触時間についてだが、新型コロナウイルスの影響を鑑み、昨年とは少し頭の中を切り替えて考える必要がある。

学習でタブレットを使うのと、スマホでゲームをやるのでは全く意味が異なる。メディアの接触時間として、一括りにして統計をとっても目的に合った統計にならないので、統計の取り方についても研究する必要がある。

また、資料3ページ3(4)③の「生活習慣」に関するまとめ方も少し物足りなさを感じる。「睡眠の重要性やメディア接触時間の長時間化による健康への影響について、家庭への啓発を含めた児童生徒への指導が必要」と記載しているが、昨年やっていた指導と今年は何を変えていくのかについても記載いただきたい。

もう一つは、「メディア接触時間のさらなる長時間化が懸念され、関係する数値の変化に今後注視する必要がある」という記載についてである。

報告書93ページの中学校2年生女子の結果を例にとると、約50%の生徒がメディアの接触時間について2時間を超えているが、2時間までであればいい、2時間を超えれば悪いという判断になるのだろうか。数値を注視することにとどまらず、これからは指導の要領を作っていくことが必要である。少し時間を要すると思うが、専門家の意見も聞きながら、一步一步対応を進めていっていただきたい。

健康教育課長 ご指摘のとおり、今年度は特にメディアへ接触する内容や目的が多岐にわたっていると思うので、そういったことも踏まえて、統計の取り方について検討してまいりたい。また、調査の結果についても注視するだけでなく、その結果から何をしていくべきなのかというところまで、きちんと掘り下げて今後の対応を考えてまいりたい。

教 育 長 私からも、メディアとの接触について述べる。

今まではメディアといった場合に、ゲームやSNSを例に、長時間の接触は弊害があるという視点で捉えてきた。しかし、コロナウイルスの関係で、学習素材のダウンロードや学習サイトへのアクセス、先日の総合教育会議のようなウェブ会議の開催など、メディアを上手に活用できている部分もあるので、単に今までのように

メディアとの接触時間にだけとられるのではなく、その中身も踏まえて、今後どのようにメディアと関わっていくべきかを掘り下げていく必要がある。大変重要なことなので、専門の方とも意見交換しながら進めていきたい。

5 付 議 事 項

第4号議案 臨時代理に関する件について（令和2年度教育予算について）

（総務課長 説明）

吉 田 委 員 キャンセルした修学旅行の費用負担する予算が計上されているが、中等教育学校が3月に修学旅行を実施することは、まさに中高一貫校の利点を生かした在り方であると考えます。

原案のとおり承認

第5号議案 令和3年度使用の仙台市立高等学校、仙台市立中等教育学校及び仙台市立特別支援学校高等部用教科用図書の採択方針について

（高校教育課長 説明）

里 村 委 員 資料1について、中学校の場合と高等学校の場合ではどこが異なるのか教えていただきたい。

高校教育課長 高等学校等については、学校ごとに教科用図書調査研究委員会が設置されており、この調査研究委員会を経て、学校長が申請をするということが異なる点である。

教 育 長 小学校、中学校では、それぞれ1つずつ教科用図書調査研究委員会を設置するが、高等学校はそれぞれの学校ごとに設置するという点に、大きな違いがある。

里 村 委 員 高等学校の場合は、現場の教員の意見がよく反映されると思うが、中学校等の場合は、全体での審議になることから、それぞれの教員の意見を吸い上げるという点において、曖昧になってしまうのではないかと懸念がある。

次 長 小学校、中学校についても、各学校の教員が教科書展示会に出向き、教科書を閲覧した結果について、教育委員会へ意見を出してもらっており、その意見については、教育委員会において採択する際の参考資料として提示している。

里 村 委 員 その参考資料には、具体の学校名が明示されているのか。

次 長 個別の学校名まではお示ししていない。

教 育 長 調査研究委員会だけで調査や採択に係る資料を作成しているのではなく、学校現場からの意見も、小学校、中学校ともにいただいているということである。

花 輪 委 員 別紙の「2 市立高等学校等教科用図書の選定について」の中の「全ての教科書について新たに選定する」との表現について、「全ての教科」ではないのか。

高校教育課長 ご指摘のとおりである。「全ての教科書について」という部分は、「全ての教科について」に修正させていただく。

文言修正の上で決定

第 6 号議案 教職員の人事に関する事項について
(令和 3 年度学校教育職員の人事異動方針について)
(教職員課長 説明)

原案のとおり決定

第 7 号議案 (仮称) 仙台市教育プラン検討委員会委員の委嘱等について
(総務課長 説明)

原案のとおり決定

第 8 号議案 仙台市学校給食運営審議会委員の委嘱等について
(健康教育課長 説明)

原案のとおり決定

第 9 号議案 令和 2 年度仙台市立義務教育諸学校教科用図書協議会委員の委嘱等について
(教育指導課長 説明)

原案のとおり決定

第 10 号議案 令和 2 年度仙台市立高等学校、仙台市立中等教育学校及び仙台市立特別支援学校高等部用教科用図書協議会委員の委嘱等について
(高校教育課長 説明)

原案のとおり決定

第 11 号議案 仙台市就学支援委員会委員の委嘱等について
(特別支援教育課長 説明)

原案のとおり決定

第 12 号議案 仙台市文化財保護審議会委員の委嘱等について
(文化財課長 説明)

原案のとおり決定